

1. 令和3年度の活動

(1) 総会・幹事会・技術委員会

- ・2021年7月1日 総会・技術委員会（本部、WEB）

議事1：令和2年度の事業報告および決算について、議事2：令和3年度の事業計画案および予算案が審議され、賛成多数により原案どおり可決した。引き続き技術委員会が開催され、第2回アンケートについて会員に説明があり、質疑応答がなされた。

- ・2021年9月28日 第1回 幹事会（本部）

9月13日が締め切りとなっていた第2回アンケート「技術開発目標設定のための確認シート」について、アンケートの回答状況を確認するとともに代表的な工法についてアンケート結果の整理を行った。

- ・2021年10月19日 第2回幹事会（本部）

9月の幹事会の議論を踏まえ、整理方法の統一を図り、すべての工法の整理を確認した。

- ・2022年1月26日 第3回 幹事会

10月の幹事会の議論を踏まえ、「設計と条件に関するチェックシート」として整理した。エビデンスの確認を行った。

- ・2022年2月17日 第4回幹事会（本部、WEB）

エビデンスを確認して、「設計と条件に関するチェックシート」として幹事会原案を確定した。国総研との意見交換会の開催に向けて議論した。

(2) 本省・国総研・土研との意見交換会

2022年4月6日に本省・国総研・土研に本研究会の活動状況を報告するとともに、研究会で取りまとめた「設計と条件に関するチェックシート」について意見交換を実施した。また、会員からの技術提案を取りまとめて本省・国総研に提出した。

(3) 設計と条件に関するチェックシート、エビデンスの例

越流に対する盛土強化工法を開発する上で必要となる設計と条件について整理を行うとともに、与条件を満足していることを証明するためにエビデンスの例を整理した。

(4) 土木技術資料への投稿

土木技術資料の令和4年1月号に「新材料等を用いた越水に対する盛土強化工法研究会の設立と活動」が掲載された。

(5) 工法カタログの作成

研究会で実施した第1回アンケートを活用して工法カタログとして整理し、土木技術資料の令和4年2月号から6月号まで、工法カタログの広告掲載を実施した。